

NEWS LETTER



NO.12 2002.9.30

にほんごひろば岡本

発行：にほんごひろば岡本
〒658 - 0016 神戸市東灘区本山中町 4 - 18 - 22
Tel:078 - 453 - 5941

爽 やかな秋空の下、運動会の練習に励む子供たちの元気な声を聞きながら、「にほんごひろば岡本」に歩を進めています。まもなく満 3 年を迎えるひろばは、学習者はもとより支援者の層も厚みを増し、創意工夫をこらしたユニークな学習支援をする人が増えてきています。

滑らかな発話を助ける為に、学習の始めに「あめんぼ赤いなあいうえお・・・」と口ならし練習を欠かさない Y さん、得意のパッチワークの指導を取り入れて日本語学習を楽しく変化に富んだものに行っている I さん、買い物やお国自慢の料理で主婦同士の交流を実現している M さん、専攻の日本語教育の授業に学習者をとび入り参加させた H さん、「ちびまるこちゃん」や「よいしょの男」の録画で楽しく学習する K さん、H さん、テキスト「歌から学ぶ日本語」の歌詞説明に四苦八苦しながらも「LOVE LOVE LOVE」でおおいに盛り上がった S さん、「日本の 365 日」を易しい読み物で継続的に紹介している Y さん、新聞や雑誌、チラシ広告など新鮮な生教材を用意して効果をあげている T さんや M さんたち、パソコンや携帯電話でのメール交換を上手く活用している人たち、さらに国際結婚による深刻なカルチャー・ショックを少しでも緩和しようと教室の内外で学習者を支え続けている H さんなどなど・・・頼もしい仲間を支えられた「にほんごひろば岡本」です。

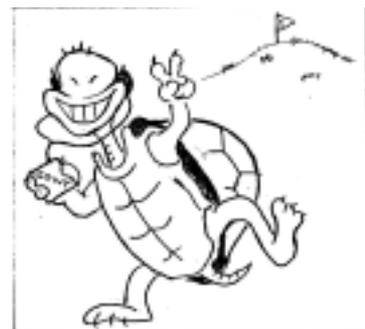
現在、兵庫日本語ボランティアネットワークの「日本語学習支援者養成講座」がひろばで開講されています。そこからまた新しい仲間が生まれる期待に胸をふくらませています。

重苦しくやりきれないニュースの多い昨今ですが、「今、自分たちに出来ること」をコツコツとやり続けていきたいと思っています。

気負わず、気長に、楽しく！がモットーの「にほんごひろば岡本」です。（西村佳子）

CONTENTS

- 特集：長期社会体験研修を終えて・・・2
- 支援者紹介・・・3 学習者紹介・・・4
- 学習者自己紹介・・・6
- 支援者のひろば・・・7
- 学習者のひろば・・・8
- お知らせ・・・8 BBQ パーティーのお誘い・・・5



【特集 1】長期社会体験研修を終えて

「にほんごひろば岡本」での思い出～理屈やたてまえなしのボランティア～

宝塚市立宝塚中学校教諭 柳瀬 学

公立中学校で英語を教えている私は、“言語を学習する意義”についてもう一度しっかり考えてみようと思い、長期社会体験研修という制度の下、「兵庫日本語ボランティアネットワーク」で2カ月間、研修させていただきました。

研修初日、「兵庫日本語ボランティアネットワーク」の代表を務める長嶋昭親先生に、まず案内していただいたのが「にほんごひろば岡本」でした。その時、西村さんに紹介していただいたのが安 珍男（アン ジンナム）さん。韓国はソウル出身で29歳。日本に来て1年も経っていないというのに日本語ベラベラ。目下、日本語能力試験1級合格を目指しがんばっているというすごい方でした。

礼儀正しい、さわやかな青年だなあーと思いながら挨拶を交わしていると、「来週からさっそく日本語指導を始めて欲しい」とのこと。「ええー！？日本語指導の経験が全くない、こんな私が1週間後に…」と、不安がよぎり、まるで教育実習生になったような気持ちになりました。

こうして始まった安さんとの日本語学習。その中で印象に残っている点を2つ程あげますと...

〈1つめ 彼の“学習意欲・日本語に対する好奇心”〉

学習時間をオーバーして2時間近く talk に熱中すること数回（...というより時間通り1時間30分で終わったことは1回もなかったような...）。しかも彼は、毎回授業の最後に「来週は『 』というタイトルで“日本語で”作文を書いてきます！」と自ら課題を設定するのです。これには感心したというより、日本人が忘れてしまった“ひたむきさ”みたいなものさえ感じました。（かくいう私は、作文が大の苦手、西村さんに頼まれたこの原稿も、書き始めてからいったい何時間経つやら...）



〈2つめ 国籍の違う見知らぬ者同士が、互いの国の文化について語り合うことのおもしろさ〉

男同士で、年齢も近かったこともあり、とても話しやすく、授業が脱線することもしばしば。じつは“日本語学習”といっても半分以上は、私が安さんに韓国のことを教わっていたような気がします...（安さんごめんなさい。日本語能力試験1級 がんばって合格してね）

さて、折りしもこの研修期間中の7月後半、中教審で「中高生のボランティア活動を単位に加える」といった決定がなされました。これに関して、評論家達は様々な意見を述べています。「ボランティアは自発的に行われるべきであり、打算的な行為は...云々」

しかし私は、この2カ月間 安さんと日本語を学習して、「そんな理屈やたてまえなんかどうでもいいじゃないか」と思うようになりました。上手くは言えませんが「にほんごひろば岡本」には“やってみたい人にしか分からない何か”があるような気がします。

最後になりましたが、そんな素敵な出会いをコーディネートしてくださった西村さん。お忙しい中、全ての研修プログラムを設定して下さった長嶋先生。そして、つたない日本語指導に我慢して、最後には韓国のおいしい海苔までプレゼントしてくれた安 珍男さん。本当にありがとうございました。

支援者紹介

森 喜代子さん

友達の輪が広がって



こんにちは。
神戸松蔭2回生の森です。
にほんごひ

ろばで今年3月から学習支援を始めて多くのものを得ましたが、たくさんの人と知り合えたことを一番嬉しく思っています。

私が初めて担当した陳さんと今一緒に学習しているギョンアさん(写真右の女性) この二人の友達、そのまた友達……と、にほんごひろばから友達の輪が広がっています。陳さん、ギョンアさんと同じYMCAの留学生がほとんどです。最近、休みの日はよく留学生と遊びます。人と話をするのが好きな私は、留学生と話をすることが今一番の楽しみです。

学校で習った新しい日本語の表現を(少し嬉しそうに)使って話してくれたり、私が話す時に新しい言葉が出てきたらメモをとったりと一所懸命日本語を学んでいる留学生を見ると、日本語を教えたいという気持ちが益々強くなります。

将来、日本語教師になりたい私にとって、ひろばでの学習支援もさることながら、ひろばでの出会いが最高のものだと思います。

額田 優さん

夢はニュージーランドの日本語教師

去年の9月に11年間働いていた銀行を退職し、現在念願の海外生活を果たすべく、ニュージーランドへの永住権ビザを申請中。将来は現地で日本語を教えたいと思っています。

ボランティアをするきっかけは、そんな私の思い

を知っていた友人から日本語教師のボランティアがあるのを聞いたことでした。早速インターネットで調べ、「にほんごひろば岡本」を知りました。そして、西村さんを訪ねたのが今年の3月でした。

人にもものを教えることが初めての私でしたが、すぐに学習者も決めていただき、いよいよ授業が始まりました。1人目は韓国人の青年「金 秀淵」キムスヨン君でした。最初は戸惑いばかりで、どう教えたらいいのかと思っていましたが、彼の日本語習得力の凄さに助けられながら、何とか授業を進めることが出来ました。ちょうどその頃に行われていたワールドカップの話題で、授業中の会話が大いに盛り上がったこともありました。

授業を離れては、キム君手製の韓国ラーメンをご馳走になったり、また、甲子園へ阪神戦の応援に行ったりと、楽しく過ごさせてもらいました。その彼も、大学に通うため7月に韓国に帰国。今はたまに日本語でE-mailのやりとりをしています。



そして現在、2人目の学習者で同じく韓国人の青年「安 珍男」アンジンナム君を教えています。努力家の彼はとてもよく日本語を勉強していて、目標は「日本語能力試験1級合格」だと言って、日々忙しいスケジュールの中、一所懸命頑張っています。彼の熱心さに背を押されながらも私自身勉強させてもらっている感じです。また、文法など難しい質問を投げかけられて日本語の難しさを改めて感じています。

日本語を教える反面、彼らから学んだことも計り知れず、これからも教え又、教えられつつ、楽しく日本語を学んでもらえるように頑張っていこうと思います。

森川正一郎さん

現代中国事情に詳しくなりました

皆さん、はじめまして。アークアカデミー（日本語教師養成学校）在学中の森川正一郎です。昨年の10月に学校の掲示板で、「にほんごひろば岡本」の名前を見つけ、京都からは少し遠いけれど、その時期、そのタイミングで見かけたこと、それ自体が何かの縁だろうと、迷わずにやって来ました。

といっても、それまで教えた経験も皆無で、また、



どんな人に最初に出会うことになるのか、不安な気持ちで一杯でした。今、一緒に勉強している中国人の張堅さん（写真右）と初めて会った日は、緊張しながら、レベル・チェックということで、「みんなの日本語」から抜き出した質問文を使って、いろいろ尋ねたことを思い出します。

現在は、新聞や雑誌などから記事を切り抜いて、一緒に読むようにしていますが、特に中国の現代事情については、本人が大変熱心に説明してくれて、こちらは教わるばかりなので、勉強しているのは、どちらかという私の方かも知れません。

そして、節目節目で迷った時には、西村さんに相談に乗っていただいています。実際、教えていただいたテキストや辞典、参考書などが本当に役に立っています。また、それらを整理して自分なりにまとめたものが、大学ノート2冊分ぐらいになり、それが今の自分の財産だと思っています。

これからもお世話になりますが、どうぞよろしくお願いします。

学習者紹介

高 敬鎬（ギョンホ）さん 男性（韓国出身）

学習者？ 支援者？

韓国はソウル出身の高さんと「ほんごひろば岡本」で初めてお会いしたのは、確か3月頃だったかと思います。第一印象を、ハキハキと話される様子とガッシリとした体格から、「極めて真面目で硬派な方」と自分勝手に作り上げて、「これからの90分、何をしたら良いのだろう……」と一人不安になっていたのを思い出します。

しかし、実際に学習していくうちに、高さんはアメリカの大学でデザインの勉強をされていて、詩を作ったり、写真を撮ったりすることがとても好きで、またそれを得意とされていることが分かったのです。私は一度、彼の作品をみせて頂いたことがあるのですが、あの大きな体からは想像できない繊細な作品（失礼！）に、正直びっくりしてしまいました。

そして、彼の意外性はこれだけに留まりません。毎日、欠かさずインターネット、TVでチェックされていることがあります。それは「株」です。私にはちんぷんかんぷんな株ですが、高さんは真剣に「関野さん、今は の株がいいですよ！買って下さい！」と勧めます。「はぁ……」としか返事の仕様の



無い私に、彼は日本やアメリカの株の仕組みについて篤と教えてくれます。そして株だけではなく、私が世界情勢について「どうして？何でこうなるの？」と質問すると、いつも丁寧に答えて下さいます。もうこうなると、どちらが支援者で学習者なのか私自身分からなくなる時があるくらいです。

日本に来られて3年目の高さん。アメリカでの大学時代に知り合われた日本人の奥さんと本当に仲良くいらっしやいます。「結婚して4年目ですけど、ラブラブです！」と堂々と言われる時「うらやましいな……」と思いつつ、「いえいえ、私はこれから！」と心構えだけは強気です。

高さん、これからも私の質問・疑問に答えて下さいね(笑)。そして、私は日本語の支援者として少しでもお役に立てればと思っています。(関野聡美)

王 剣峰さん 男性 (中国出身)

サッカー大好きな留学生

王さんは、2年前に中国の煙台から神戸商船大学の留学生として日本にやってきました。

4月に王さんと勉強を始めてから、5カ月になります。王さんの第一印象は、物静かそうな人だなあというものでした。実際に王さんと勉強してみると、すごく真面目で頭のいい人でした。現在、日本語能力試験1級合格を目指し猛勉強中です。するどい質問をされて、たじろんでしまうことも度々……。

日本に来たばかりの頃は、日本語が話せなくて大変だったのですが、今ではいろんな話をたくさんできるようになりました。初めの頃は時間になるとすぐ勉強し始めるという感じで、あまり勉強以外の話ができませんでしたが、今では中国のことや大学のことなど少しずつ話してくれるようになりました。

最近の会話の中で、ちょっと意外だったのは、王さんの趣味のことです。私は勝手に、王さんはスポーツなんかはあまり好きじゃないんだろうなと思っていたのですが、中国にいた頃は、地元のサッカーチームのキャプテンを務めていて中国のあちこちに試合に行っていたそうです。物静かな王さんが、そんなスポーツ青年だったとは……。

12月に日本語能力試験1級の試験があるので



が、それに向けて少しでも手助けできればなと思っています。頑張れ！王さん！！(大家園代)

カラ・ロクさん 女性(シンガポール出身)

日本の四季を満喫して

ロクさんは2度目の来日です。今回は11年前、仕事の関係で来られたそうです。その時の感想を聞きますと、東京から沖縄までの各地に行き、民家に泊めて頂いたり、ホテルで宿泊して、滞在期間は1カ月でしたが十分に日本の生活(郊外・町の暮らし)を体験し楽しむことが出来て良かったと言っておられました。その後、シンガポールで2年間日本語の勉強をして、昨年12月に家族4人で来日されました。

現在、ジョナサン(長男)は日本の小学校に通学し、キャリス(長女)はロクさんと一緒に時々ひろばに来

ます。二人とも子供らしくとてもかわいいです。今回、



日本で暮らした感想を聞きますと、春は梅林に行ったり、六甲山に登ったり、又、夏には海水浴にも行き、日本の四季を満喫された様子。今年12月には帰国されますが、秋の紅葉と冬の雪景色も是非、観賞して頂きたいと思います。

ジョナサンは帰国するとすぐに受験があるそうです。頑張ってください。(吉田加代子)

【BBQパーティーのお誘い】

今年も秋のバーベキューパーティーを行います。10月14日(休日)場所は芦屋奥池遊びの広場です。ご家族・お友達を誘ってたくさんの方の参加をお待ちしています。BBQのほか、楽しいゲームも用意しています。詳しくはひろばの掲示板をご覧ください。

学習者自己紹介

ジーナ渡辺さん 女性 (フィリピン出身)



まん才大好き！お花見すきやねん

わたしはジーナ渡辺です。主ふです。日本にきて3年になります。さいしょはとても大へんでした。えいごよりも日本ごがいちばんむずかしいです。はじめてでんしゃにのったとき、きつぷのかい方も、どのでんしゃにのったらいいのかもわかりませんでした。そのとき、たまたまフィリピンの方がしゃべっているのがきこえました。その人におしえてもらっていっしょに三宮にいきました。

主人といろんなところにあそびにいきました。今年のなつ しらはまにいきました。とてもきれいなうみでした。日本では四季があるので いそがしいです。あきにはたべものがおいしいし、ふゆにはようふくがたくさんいるし、はるにはお花見あるし、とてもいそがしいです。わたしは、はるがいちばんすきです。

今年はYWCAにおべんきょうにいきました。先生はみんなとてもやさしかったです。

ひまなときはうちでテレビをみます。まん才のばんぐみがすきです。にほんごがよくわかりますから。わたしの知っているおおさかべんは「**おおきに まいど えらいこっちゃ なにしてんねん すきやねん**」

さいごに、にほんごひろばのみなさん 「にほんごのべんきょう がんばりましょう」

張 堅さん (中国出身)

日本の文化にひきつけられて

私は中国から来た張堅です。

来日してから1年あまりの生活について、忘れられないことは数えきれないほど多い。留学前に、航海士である私は日本に来たことがあり、日本の高度に発達した工業、きれいな町、皆の紳士らしい振る舞い、及び中国とは異なる文化に対して、非常に深い印象が残っていました。したがって、学術の為ばかりではなく、日本の文化にひきつけられて、日本に来たわけです。



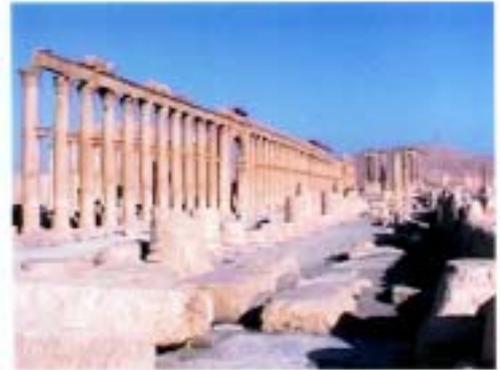
にほんごひろば岡本での勉強はもうすぐ1年になります。この1年、西村さんと森川先生の指導のおかげで、私の日本語はだんだんうまくなってきました。日本へ来たからには、日本語が上手になるべきであるのは皆の共通の認識です。しかし、「どうすれば日本語をより上達させられるか」は外国人にとってはとても難しい問題です。私は「日本語を道具として、または勉強のためだけに日本語を勉強することはいけなくて、日本語を一つの文化として、自分の深い興味を持った部分に勉強のエネルギーを注いだほうがいい」という考えを持っています。日常の生活、専門知識は当然として、日本特有の文化、華道とか相撲とか、野球とか、優れた漫画に対しても強い興味を持ちながら調べて行きたいと思います。こういったことを通じて、日本の社会がよく理解できるようになると思います。さらに自分の日本語のレベルを一層向上させたいと私は思っています。

支援者のひろば

中東を旅して

四本 裕

今年の8月「シリア・レバノン・ヨルダン古代紀行」のツアーに参加して旅行してきました。しかし、これだけだと古代遺跡とホテルの素晴らしさは解るけれども、現在の中東やイスラムの様子は解りません。それで、10日間のホームステイをお願いして全部で22日の旅行になりました。



1. 古代紀行

シリア・レバノン・ヨルダンの3カ国に点在する古代遺跡を巡るのが目的で、世界遺産ともなっている主な訪問遺跡は、アンジャール遺跡（レバノン）、パールベック遺跡（レバノン）、アレppo市街（シリア）、パルミラ遺跡（シリア・写真）、ダマスカス市街（シリア）、ボスラ遺跡（シリア）、ペトラ遺跡（ヨルダン）等で、併せてスーク（バザール）散策、死海での浮遊体験、砂漠体験ツアー等がありました。沢山の貴重な体験もしましたが、砂漠の中に忽然と現れる3000年以上も昔の巨大な石造りの神殿や市街地の遺跡を見ていると、本当に神話のような世界や歴史が存在していた事を実感します。さらに、この文明が滅びることなく今日もなお独自の文化や社会を形成し維持していることに、感嘆いたします。これはまさに人類の遺産であり、かつ財産であって決して失わせてはいけなと強く思いました。

2. ホームステイ

ヨルダンの首都・アンマンでホームステイをしました。ホストは元銀行家の富豪で、1階の床面積が200平方メートルはあるかという大理石造りの3階建ての家です。アラブ人は接待好きとは聞いておりましたが、一族郎党が毎日のようにやって来て歓待してくれました。食事はアラブ特有の料理が毎回10品も出ていましたが、私が食べられたのは2~3種類だけでした。しかし、幸いだったのは、アラブのパン「コブス」がとてもおいしく、自家用農場でとれた果物がふんだんに食べられたことでした。時折、外食の誘いを受けましたが、出かけるのが午後10時頃で帰ってくるのが深夜2~3時なので断りました。

さて、アンマンは人口100万人位で、そのうち70%がパレスチナ人です。いろいろな歴史的経過があって、パレスチナ難民が多く流入していますが、ヨルダンはイスラエルとも平和条約を結び、反イスラエル活動を禁止しているため、紛争などは起きていません。

街中、活気にあふれ郊外では至る所で住宅やモスク（礼拝所）が新築されています。新しいショッピングモールも2つできました。

ヨルダン国家にしてもパレスチナ人にしても、言いたいことは山ほどあるに違いありません。しかし、それを堪えて平和の維持に努めているように思います。47年間戦争をしてきて、如何に平和が大切かを実感したに違いありません。

美しいアラブの女性達を見ながら、とにかく平和であって欲しいとつくづく思いました。

学習者のひろば

その1

超カンタン！デニーのとうふシェイク

材料（4～5人分）：

豆腐 1/3 丁

バナナ 2 本

りんご 1/4 個

氷 3～4 個

ブルーベリー（冷凍）大さじ 3

ミルク 200cc

ハチミツ 小さじ 1

作り方：

りんごは皮をむき、その他の材料を適当な大きさに切り、ミキサーにかける。好みによってブルーベリーやハチミツを加える。この日、ひろばに来ていた人たちにも美味しいと評判のシェイクでした。身体によさそうですね。詳しくは支援者の市川さんに問い合わせてください。



その2

「もんくのせいかつ」 スティーヴン・ディビスさん（イギリス出身）

わたしはイギリス人だからもんくをいうことはせいかつのいちぶ。でも、日本人はこのかんがえかたわかりにくいです。

じつは、イギリス人がもんくをいうことはせかい中でよく知られています。だから、イギリス人が日本に住んだ時、ほとんどみんなはこの国が「もんくパラダイス」と思っているでしょう。

たぶん、あなたたちはどうして？と思っています。僕にせつめいさせてください。あなたたちはこの国にずっと住んでいるからいろいろな小さいもんだいが見えません。たとえば自転車に乗っているおばさんのもんだい。日本でぜんぶの自転車はベルがあるのにオバサン・ライダーは、ぜんぜん使いません。一人か二人はあまりあぶなくないけれど、たいてい日本のみちには 10 人もオバサン・ライダーがありえます。

つぎのもんだい。ぎんこうの ATM について。みんなはお正月が日本の一番いそがしいときだと分かっています。でも……。ぎんこうたちはまったく知りません。もちろん、日本の買い物に行っている一般人民はその時にお金が欲しいでしょう。そして、ぎんこうたちは何をしていますか？かれらは ATM 閉めているんです。その上、コンビニの ATM まで閉まっています。この日がくると、外国人は日本中で「エエーッ」とさげびます。

これは「もんくのパラダイス」のほんのいちぶです。

おじさんについては話したくもないです。



【お知らせ】

兵庫日本語ボランティアネットワーク主催の日本語学習支援者養成講座が 9 月 7 日より 10 月 26 日までの土曜日の午後「にほんごひろば岡本」で開催され、18 歳から 76 歳までの 66 人が受講されています。日本語教育の第一戦でご活躍中の講師陣のていねいな講義と受講生の熱気で教室はヒートアップしています。ぜひ、一度見学してください。



{編集後記}今回は学習者のみなさんにもどんどん参加してもらいました。まさに異文化交流です。これからもいろいろな企画を用意しています。どうぞ期待。(M・I)

